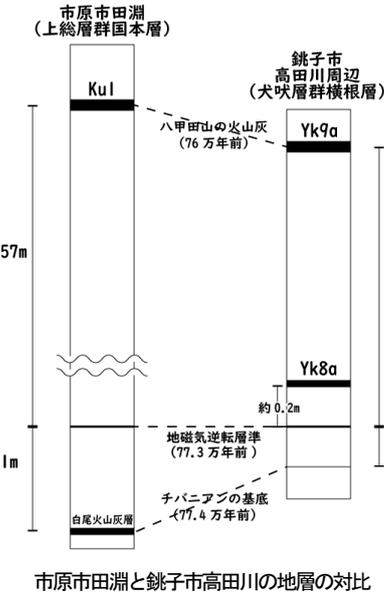


(1面よりつづく)
 となくわかっていきましたが、銚子でどこを探しても白尾火山灰層はありませんでした・・・そこで、銚子の火山灰に詳しい※中里裕臣先生は高田川から約5km離れた場所です。掘られた銚子コアに注目しました。銚子コアは森戸町の台地の上から約250m掘り進んだ学術ボーリングです。このコアを調べると、地磁気逆転層準の約20cm上に火山灰層があることがわかりました。そして、これが高田川にある「Yk8a」と呼ばれる火山灰層と同じ火山灰であることを突き止めたのです！「Yk8a」の約20cm下が地磁気逆転層準になります。さらに言うと、市原市田淵の地層に比べ、銚子市高田

川の地層は堆積速度が5分の1ぐらいたと考えると考えられています。計算すると・・・7.4万年前のチバニアンの始まりの層準はYk8aの40cmぐらいた下に位置すると予想できます。というように、高田川周辺では、「Yk8a」がわかると、それを目印にチバニアンの始まりや地磁気逆転層準の位置がわかるのです。チバニアンが始まった時代、関東は広く「関東堆積盆」という窪地で銚子も市原も深い海でした。もちろん、市原と銚子の地層は地下でつながっています。そんな貴重な地層が地域にあるなんて！とても素敵なことですね。



「高田川露頭見学学習会に参加して」
 川原 俊久

2月12日(日)10時より表題のジオパーク市民の会野外学習会が開かれました。2月中旬で寒さも覚悟していたのですが当日は穏やかな日和でした。解説者は「市文化財・ジオパーク」の岩本さんです。参加者は30数名で余山貝塚、高田川河岸整備を行われている住民の方十数名も参加されていました。



余山貝塚跡地では、「縄文時代には海岸線が後退していく海岸にできた微高地が居住地になり貝塚が出来た現在の九十九里平野の集落と同じです。」とのこと

「高田川露頭」
 宮田 浩二

2月19日9時から、ジオパーク市民の会、ナルク銚子の皆さんと犬吠埼灯台周辺の清掃をしました。本日は、10mの南西の風が吹くとの事でしたので、早めに行って犬吠埼周辺を見て廻りました。

でした。次に岡野台町の道路切通し壁面を見学をしました。目の高さに細く黒い地層が見え、これが76万年前に青森八甲田山の噴火により飛来した火山灰とのことでした。銚子にこの火山灰が来る時、東北地方にはどれだけ火山灰が降ったのかを考えると火山噴火の大きさが考えられました。最後に高田川の7.4万年前のチバニアン下層が含まれている地層が目に見える場所(露頭)に行きました。この露頭は本家・養老川田淵の地層と同時代ですが残念ながらチバニアン下層を確定した火山灰層は見当たりません。そこで高田川より5km離れた場所の地下地質サンプルの分析よりチバニアン下層に近い他の火山灰層を確定し、高田川岸で見えるその火山灰層の40cm下がチバニアン下層となるとの解説でした。その後住民の方たちとこの高田川露頭の文化財としての保護、余山、高田川、中島城跡

「海岸清掃 in 犬吠埼」
 宮田 浩二

君ヶ浜方面は、発泡スチロールやペットボトルなどのプラゴミが沢山ありました。南側の銚子ランドホテルの前の海岸には、大きな漂着ゴミが散乱していたので、拾い集めました。

でした。次に岡野台町の道路切通し壁面を見学をしました。目の高さに細く黒い地層が見え、これが76万年前に青森八甲田山の噴火により飛来した火山灰とのことでした。銚子にこの火山灰が来る時、東北地方にはどれだけ火山灰が降ったのかを考えると火山噴火の大きさが考えられました。最後に高田川の7.4万年前のチバニアン下層が含まれている地層が目に見える場所(露頭)に行きました。この露頭は本家・養老川田淵の地層と同時代ですが残念ながらチバニアン下層を確定した火山灰層は見当たりません。そこで高田川より5km離れた場所の地下地質サンプルの分析よりチバニアン下層に近い他の火山灰層を確定し、高田川岸で見えるその火山灰層の40cm下がチバニアン下層となるとの解説でした。その後住民の方たちとこの高田川露頭の文化財としての保護、余山、高田川、中島城跡



観光客の皆さんや地元の人たちに、気持ちよく犬吠埼の景色を楽しんでもらえると思うと、私自身とてもいい気分になります。一番気になったのが、灯台前の友好記念碑がある場所でのたばこのポイ捨てです。小さな子供達が元気に走り回っているのを見ると、思わず笑ってしまいますが、たばこのポイ捨てを見ると気分が悪くなります。たばこを吸いたい気持ちには分かりますが、ポイ捨ては止めて欲しいです。清掃活動お疲れさまでした。

4月のおしらせと鑑読
 4月2日(日)9時~10時
 ジオパークの森清掃活動(君ヶ浜 茂木(もぎ)090 8947 2889
 4月2日(日)10時~
 ジオパークの森春の植物観察会
 保立講師
 清掃活動終了後に実施
 ※中里裕臣先生
 令和4年5月28日の市民の会総会の講師です。
 国立研究開発法人
 農業・食品産業技術総合研究機構
 中里裕臣 先生
 銚子地域のチバニアン、どこからどこまで?」
 次回の銚子ジオパーク市民の会総会は、銚子の地層に詳しい、宇都宮大学名誉教授 酒井豊三郎先生に、講演していただく予定です。お楽しみに!